

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第2区分

【発行日】平成17年7月14日(2005.7.14)

【公開番号】特開2003-154465(P2003-154465A)

【公開日】平成15年5月27日(2003.5.27)

【出願番号】特願2001-353160(P2001-353160)

【国際特許分類第7版】

B 2 3 K 11/11

B 2 3 K 11/24

【F I】

B 2 3 K 11/11 5 5 0 Z

B 2 3 K 11/11 5 2 0

B 2 3 K 11/24 3 4 0

【手続補正書】

【提出日】平成16年11月19日(2004.11.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

板状電極上で横向き姿勢に保持される溶接ガンの先端に装着される溶接チップとこの板状電極との間に溶接すべき工作物をはさんで加圧通電して抵抗溶接する抵抗溶接機において、前記溶接ガンを枢支軸の周りに旋回できるよう構成する一方、前記溶接ガンの後端を上向きに突き上げて前記溶接チップを旋回させることにより前記工作物を加圧する加圧部材を設けることを特徴とする抵抗溶接機。

【請求項2】

前記加圧部材の頂端が当接する前記溶接ガンの当り面を前記溶接ガンの軸線に対し傾斜させて構成することを特徴とする請求項1記載の抵抗溶接機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 3】 【課題を解決するための手段】 すなわち、本発明は板状電極上で横向き姿勢に保持される溶接ガンの先端に装着される溶接チップとこの板状電極との間に溶接すべき工作物をはさんで加圧通電して抵抗溶接する抵抗溶接機において、溶接ガンを枢支軸の周りに旋回できるよう構成する一方、溶接ガンの後端を上向きに突き上げて溶接チップを旋回させることにより工作物を加圧する加圧部材を設けることを特徴とする。